

会務報告

平成 24 年度熊本地学会総会及び講演会

平成 24 年度の総会と講演会は、平成 24 年 11 月 24 日（土）に熊本大学くすの木会館で開催されました。参加者は 54 名でした。

【総会】

○会員数は次のとおりです。

166 名（平成 24 年 11 月 24 日現在）

○新役員が以下のとおり選出されました。

会 長 田中 均
副会長 鶴田孝三
幹 事 村上浩二、宮縁育夫、湊 啓輔
田口清行、西岡智洋、馬場正弘
村本雄一郎、池上直樹

会計監査 河上 強

○平成 24 年度の会計は以下のとおりです。

収入の部

会 費：292,000 円
内 訳：平成 24 年度分 234,000 円
その他年度分 58,000 円
会誌バックナンバー販売：500 円
利 息：42 円
平成 23 年度繰越金：399,575 円
合 計：692,117 円

支出の部

会誌印刷代：170,520 円
内 訳：No. 158：69,300 円
No. 169：60,375 円
No. 160：40,845 円
切手・送料代：107,468 円
その他（封筒、シール等）：6,635 円
合 計：284,623 円
繰 越：407,494 円

【講演会】

5 件の一般講演と 1 件の招待講演がありました。

○一般講演

- 1) 東九州秩父帯におけるマンガン鉱床の分布と特徴ならびにその成因について 野田 雅之
 - 2) 八代、下深水北における下部白亜系アンモナイト連続層序 村上 浩二
 - 3) 平成 24 年 7 月 12 日の龍田陣内 4 丁目の白川水害について 田村 実
 - 4) 『防災教育について（その 1）』～学習指導要領、教科書での取り扱い～ 村本雄一郎
 - 5) 熊本地下水地震応答変動特性 福田 光治
- 特別講演
「阿蘇ジオパークの取り組みと今後の課題」
片山 彰・渡辺一徳

幹事会

平成 25 年 2 月 15 日（金）、平成 25 年度の幹事会が熊本大学教育学部地学教室で開かれ、平成 25 年度の行事等が以下のとおり計画されました（括弧内は担当役員）。

○会誌の発行（鶴田・湊・池上）

平成 25 年度の会誌の発行予定は次のとおりです。原稿は随時受け付けています。

162 号（4 月）、163 号（7 月）、164 号（11 月）

○会誌の投稿規定改正

平成 24 年度の総会で承認された熊本大学学術リポジトリを利用した会誌の PDF ファイル公開に伴い、投稿規定の見直しを行いました（改正した投稿規定は 21 ページに掲載）。

○巡検会

平成 25 年度の巡検会の予定は次のとおりです。

- ・平成 25 年 4 月 20 日（土）
宮崎県五ヶ瀬町（村本）
- ・平成 25 年 8 月 3～4 日（土・日）
大分県西部地域（宮縁・村本）
- ・平成 25 年 9 月 14 日（土）
天草地域（田中・村本）

○総会及び講演会

平成 25 年度の総会は次の日程で開催される予定です。多数ご参加いただけますよう、日程調整をお願いします。

平成 25 年 11 月 30 日（土）

招待講演の選定（田中）
プログラム作成（田口・宮縁）
会場準備（宮縁）

会計：宮縁
総務：宮縁

○事務局

平成 25 年度の事務局は以下のとおりです。

熊本地学会誌投稿規定

熊本地学会誌編集委員会
(2012 年 11 月 23 日 一部改正)

1. 投稿者は原則として地学会会員とします（共著の場合は、少なくとも 1 名は地学会会員を含むこと）。
2. 主な投稿原稿の種類は次のとおりです。原則として未発表のものとなりますが、地学会誌の目的に沿うように書きあらためられたものは可とします。
 - (1) 研究：地学及び地学教育に関する研究。
 - (2) 解説：地学に関する評論・解説など
 - (3) 実践報告：地学教育に関する実践の報告
 - (4) 速報：研究途上の内容や新しい露頭の発見など速報性を要するもの。
 - (5) 行事報告：地学会関連の行事の報告。
 - (6) その他：地学会会員のために有益と判断される内容の記事
3. 原稿の刷り上がりの長さは（図・表・写真を含む）、おおよそ以下を目安とします。
 - (1) 研究、解説、実践報告：8 頁
 - (2) 速報、行事報告：4 頁なお、刷り上がり 1 頁は、400 字詰め原稿用紙 4 枚に相当します。
4. 投稿される場合は、正原稿（原図、写真を含む）を 1 部、又は電子媒体をお送り下さい（著者の手元にもコピーを残しておいて下さい）。
5. 原稿には、1) 原稿の種類（研究・解説など）、2) 投稿者氏名、3) 所属、4) 連絡先、住所、連絡先電話番号、5) 別刷希望の有無（50 部単位）を添えて下さい。
6. 投稿原稿の採否については編集委員会が決定し、投稿者に連絡します。その際、電子媒体での提出をお願いすることがあります。
7. 著者校正は、原則として初校のみとします。
8. 投稿原稿に関する問い合わせは「地学会事務局」へお願いします。
9. 本誌に掲載された論文は「熊本大学学術リポジトリ」において公開します。なお、本規定は創刊号まで遡って適用します。

原稿作成の手引き

編集作業の効率化を図るため、電子媒体による投稿を積極的に受け付けます。投稿の際はデータをコピーした電子媒体を郵送するか、電子メールに添付して編集担当者にお送り下さい。また、これまでと同様に手書き原稿による投稿も受け付けています。原稿は以下の要領でご用意下さい。

1 本文

- 1) 最初にタイトル、著者名、所属を記述して下さい。
- 2) 本文はテキスト形式又は Microsoft Word 形式で保存して下さい。
- 3) 句読点は、、、。を用いて下さい。
- 4) 字体の指定は Word で指定するか、出力原稿に波線（ゴシック）や下線（イタリック）を引いて指定して下さい。
- 5) 見出しは第 1 項目をゴシック体で中央に配置、第 2 項目はゴシック体で左寄せを原則とします。それ以下は著者の自由としますが、体裁を統一するため、調整させていただくこともあります。

2 図表

- 1) 写真・線画・グラフなどは全て図として扱います。キャプションは本文とは別にテキスト形式、Microsoft Word 形式で用意して下さい。
- 2) 写真は、十分な解像度を保持した電子データかプリント又はフィルムを用意して下さい。
- 3) 電子データは JPEG, TIFF, EPS 形式等で保存して下さい。写真を JPEG 形式で保存する場合、圧縮せずに保存することをお勧めします。
- 4) 写真をスキャナーで電子化する場合は 600dpi、白黒の線画は 1200dpi 以上の解像度で読み取り、TIFF 形式等で保存して下さい。
- 5) Microsoft Word 等のワープロの文書に貼付した画像は、画質が落ちている場合があり、そのまま印刷に用いると鮮明に印刷されないことがあります。できるだけ元の画像ファイルをご用意ください。
- 6) 線画やグラフは Adobe Illustrator, PDF, JPEG, TIFF, EPS 形式のいずれかで保存して下さい。
- 7) 写真・文字・線画が混在した図は Adobe Illustrator, PDF, JPEG, TIFF, EPS 形式のいずれかで保存して下さい。但し、図中に配置してある画像ファイル（JPEG, TIFF, EPS 形式）は別に添付して下さい。
- 8) 表は Adobe Illustrator, PDF, JPEG, TIFF, EPS 形式のいずれかで保存して下さい。

3 文献

- 1) 文中における文献の引用は、(著者名, 年) 又は著者名 (年) とし、2 つ以上の文献を引用する場合は、発表年代順に並べてください。
- 2) 3 名以上の著者がある論文は、「田中ほか, 2013」「Tanaka et al., 2013」とします。
- 3) 引用文献は、「文献」として本文末に一括し、著者名のアルファベット順、同一著者の場合は年代順にならべて下さい。雑誌名は省略せず完記します。巻・号・ページは数字のみを記載して下さい。体裁は以下の例を参照して下さい。

(例)

田村実・岡崎美彦・池上直樹, 1991. 御船層群上部層よりの肉食・草食恐竜の化石群の産出について. 熊本大学教育学部紀要, 40, 自然科学, 31-45.

Miyabuchi, Y., Watanabe, K., and Egawa, Y., 2006. Bomb-rich basaltic pyroclastic flow deposit from Nakadake, Aso Volcano, southwestern Japan. Journal of Volcanology and Geothermal Research, 155, 90-103.